

名勝大乘院庭園文化館に係る奈良市指定管理者選定委員会 採点集計表

施 設 の 名 称	名勝大乘院庭園文化館	審査日	令和7年1月27日
申 請 団 体 の 名 称	株式会社奈良ホテル		

可否審査

選定の基準		審査項目		各委員の審査							意見	
				A	B	C	D	E	可の数	否の数		判定
1	市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	①	市民による平等利用に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適	指定管理料の削減提案が見られなかった。
		②	情報公開に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適	
		③	法令遵守に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適	
3	事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	①	経理の適正性	適	適	否	適	適	4	1	適	
4	事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	①	施設の維持管理に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適	
		②	施設の安全対策、非常時の対応に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適	

得点審査																
選定の基準		審査項目		各委員の採点								配点		意見		
				A	B	C	D	E	平均	計	満点	比率	優れている点	劣っている点		
2	事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	①	施設の現状分析	2	2	1	2	2	1.8	9	50	15	75	39%	・奈良ホテルと連携した事業に期待できる。人員応援や情報発信等も展開ができる。	・当施設の現状分析が不十分である ・パンフレットの更新がされておらず、情報不足に感じる。
		②	事業実施計画及び達成目標	3	2	1	2	2	2	10		15				
		③	自主事業実施計画及び達成目標	3	2	2	2	2	2.2	11		15				
		④	利用の促進、サービスの向上の方策	3	2	2	2	2	2.2	11		15				
		⑤	施設の目標設定	2	2	1	2	2	1.8	9		15				
3	事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	①	指定管理料の提案額	2	2	2	2	2	2	10	10	25	25	13%		
4	事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	①	職員の配置、勤務体制及び研修計画	2	2	1	2	2	1.8	9	33	15	45	24%		
		②	類似事業の実績、ノウハウ	2	2	3	3	2	2.4	12		15				
		③	財務状況の健全性	2	2	3	3	2	2.4	12		15				
5	その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	①	行政との連携	3	2	3	3	2	2.6	13	35	15	45	24%		
		②	地域における連携・貢献について	3	2	3	2	2	2.4	12		15				
		③	指定期間中の具体的な達成目標	2	2	2	2	2	2	10		15				
合計点				29	24	24	27	24	25.6	128	128	190	190	100%		

審査項目の総数	12
委員の半数以上が「劣っている」以下で評価した審査項目	0
適否判定	適

〔総評〕
・施設の設置目的は十分理解されていると思うので、隣接する奈良ホテルと一体化した運営をすること、魅力的な事業を行うことにより、来館者が増加することを期待する。 ・ならまちの中心部からは離れているので、奈良ホテル利用者以外の市民や観光客をどのように取り込むのか方策を考える必要がある。 ・積極的に外部に発信し、奈良公園の近くという好立地を活かしてほしい。 ・諸問題の根本解決に向け、目的及び目標値の設定、予算の考え方、人員配置等を市とともに考えてもらいたい。 ・指定管理期間が一年であるため、今後の方針等を市と協議し、目標設定を行い、今後の運営を進めてほしい。